

原発再稼働、ゴミ袋問題、住宅リフォーム助成制度、子ども医療費 小中学校へのクーラー設置、市営温水プールなど質問

日本共産党市議団

始良市議選後、初めての定例議会となる6月議会は12日から始まりました。市政全般について質問できる、「一般質問」では、原発再稼働問題や子ども医療費助成など選挙中に掲げた公約を質問通告しました。

7月3日から8日まで質問予定日となっています。議会傍聴をお願いします。

堀議員

川内原発再稼働について

- ・川内原発再稼働が進められようとしている。そのような中、大飯原発の再稼働を違法とする判決が下された。市長の見解をお聞きしたい。
- ・福島第一原発の事故を受けて、原発から「30キロ圏内」の自治体には避難計画が義務付けられた。始良市の蒲生地区は30キロ圏内に入る。避難計画と受け入れの準備はなされているのか。特に、要援護者に対する対策はどのようになっているのか。

ゴミ袋問題について

- ・始良市のゴミ袋は高いとの声がある。資源ごみや有価物の売り上げは、2013年度、約3100万円と報告されている。この一部を市民に還元し、負担の軽減をはかれないか。

住宅リフォーム助成制度について

- ・住宅リフォーム助成事業は、経営波及効果が「12倍」(霧島市)と高く、中小業者の仕事を増やす事業として歓迎されている。この間どのように検討したか。始良市でも実施する考えはあるか。

渡辺議員

市営温水プール新設について

- ・子どもから高齢者まで気軽にできるスポーツとしてスイミングがある。旧始良町にあった厚生年金施設「サンピア始良」は、現在閉鎖され、始良市には公営のプールは存在しない。鹿児島市や霧島市には市営プールがあり、多くの市民に親しまれている。市民からは、公営プールの設置が望まれているが市当局の見解を問う。

子育て支援策について

- ・子ども医療費は県内19市中7市が中学校卒業まで無料、曾於市は今年から高校卒業まで無料化を実施している。始良市でも中学校卒業までの無料化を急ぐべきだがどのように考えるか。
- ・病院窓口での無料化を実施していないのは九州7県の中で鹿児島県のみである。この現状をどのように考えるか。

学校施設整備について

- ・2013年の鹿児島の真夏日は98日、猛暑日は28日を記録した。小中学校の普通教室には扇風機しかなく、降灰により窓を開けられず、熱中症の恐れがある。クーラーの設置はできないか。

「人格権」を侵害する

原発再稼働は中止を！

5月21日に福井地方裁判所が関西電力大飯原発の再稼働差し止めを命じる判決を下しました。判決は、原発から250キロ圏内に居住する原告は、同原発の運転によって「人格権を侵害されるおそれがある」と指摘しています。

停止中の全国の原発で、「再稼働第一号」がねらわれている川内原発。その薩摩川内市中央公民館で、6月8日、「川内原発の再稼働を考えるシンポジウム」が行われ、会場一杯の参加者が集いました。

新潟大学の立石雅昭(地質学)名誉教授は、「川内原発敷地東方の道路脇で、活断層の可能性のある断層がある」と指摘。原発避難者訴訟原告団長の早川篤雄さんは、福島では、「小中高生、約9000人が全国に散らばっている。原発事故が30キロでおさまる根拠はない」と述べました。鹿児島国際大学の八木正准教授は「原発の発電コストは最も高い」として、その根拠を説明しました。日本共産党の笠井亮衆議院議員は、「安倍政権は『世界一厳しい審査だから安全』と言っている。『リスクは常に残っている』との規制委員会の見解もある」と指摘しました。



薩摩川内市で開かれたシンポジウム